

事例番号:330078

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第二部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 39 週 6 日

14:15 妊娠高血圧症候群、出血のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 39 週 6 日

16:38 妊娠高血圧症候群の診断で帝王切開により児娩出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:39 週 6 日

(2) 出生時体重:2500g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析: pH 7.35、BE -0.6mmol/L

(4) Apgar スコア: 生後 1 分 9 点、生後 5 分 10 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

生後 7 日 退院

生後 6 ヶ月 未頸定

生後 10 ヶ月 精神運動発達遅延の診断

(7) 頭部画像所見:

1 歳 2 ヶ月 頭部 MRI で先天性の脳障害を示唆する所見なし、大脳基底核・

視床に明らかな信号異常なし

## 6) 診療体制等に関する情報

- (1) 施設区分: 病院
- (2) 関わった医療スタッフの数  
医師: 産科医 2 名、麻酔科医 1 名  
看護スタッフ: 助産師 2 名、看護師 3 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

妊娠経過、分娩経過、新生児経過に脳性麻痺発症に関与する事象を認めず、脳性麻痺発症の原因は不明である。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価(2020年4月改定の表現を使用)

### 1) 妊娠経過

妊娠経過中の管理は一般的である。

### 2) 分娩経過

- (1) 妊娠 39 週 6 日、出血で受診した際、胎児心拍数陣痛図上一過性頻脈、基線細変動乏しいと判読し入院とし、分娩監視装置で連続監視したことは一般的である。
- (2) 高血圧を認め、14 時 50 分以降自動血圧計を装着し観察をしたことは一般的である。
- (3) 16 時 10 分に、内診所見がかわらず、妊娠高血圧症候群の診断で帝王切開を決定したことは一般的である。
- (4) 帝王切開決定から 28 分後に児を娩出したことは適確である。
- (5) 「原因分析に係る質問事項および回答書」によると、臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

### 3) 新生児経過

出生後、新生児期の管理は一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

- 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

なし。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。